

## 契約実績



国有林72.34ha / 支障木伐採71件 (R4年度)

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| ① 白馬岩岳団地 33.00ha    | ⑫ 高地団地 58.63ha    |
| ② 八方団地 41.53ha      | ⑬ 東山団地 86.93ha    |
| ③ 飯森東団地 56.43ha     | ⑭ 切久保団地 67.85ha   |
| ④ 飯田団地 126.96ha     | ⑮ 川西団地 77.18ha    |
| ⑤ 小川村・中条 40.84ha    | ⑯ 滝ノ沢平岩団地 38.88ha |
| ⑥ 北山団地 93.42ha      | ⑰ 神戸原団地 157.01ha  |
| ⑦ 東海ノ口団地 149.23ha   | ⑱ 鼠穴団地 81.93ha    |
| ⑧ 新行団地 140.0ha      | ⑲ 吐中国地 35.92ha    |
| ⑨ 元の関団地 97.65ha     | ⑳ 北の沢団地 20.68ha   |
| ⑩ 向団地 104.05ha      | ㉑ 北小倉団地 28.98ha   |
| ⑪ 二重南大塩北団地 113.17ha |                   |

### 施業事例

#### 白馬村 飯田団地 将来歩いて美しい針広混合林を目指して

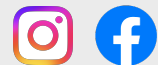
この地域は、スギ、ヒノキ、カラマツの針葉樹が主に生えている樹種ですが、場所によりカエデやクリ、ナラなどの広葉樹があり多様な樹種で森林が作られています。ただ、近年は樹木の成長にともなって、全体が暗く閉塞感が始めている状況でした。そのためまずは間伐により森の中に空間をつくりました。空間ができたことにより残した木は枝を張り、太く育つ環境ができました。地面に光が入ることで天然の木も生え、地力の高まりも期待できます。また、作業路網の整備で、利用できる太さの木を選び切り出す施業(択伐)も可能となりました。今後は、択伐を繰り返すことで広葉樹を中心とした天然木も成長することができ、針葉樹と広葉樹が混ざった針広混交林の森づくりをしていきます。

### 企業組合 山仕事創造舎

長野県大町市大町3300-1 つくだビル3階

☎ 0261-85-0940

FAX 0261-85-0941  
WEB <https://www.yamashigoto.com/>



山仕事創造舎 🔍



山のことお気軽に  
ご相談ください！



2023年10月発行

## vol.1 森のおたより

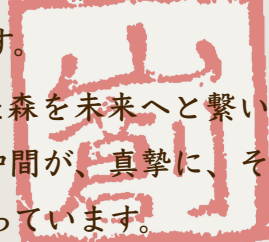


山をより身近に感じていただけるような  
森づくりの様子をお届けします

### 森をつくり 繋いでいく - 山仕事創造舎のご紹介 -

私たちは地域の山守として、山主様の思いを尊重し、森林の特徴に合わせた森づくりを得意とするキコリ集団です。

豊かな森の恵みをたくさんの方に届け、育てた森を未来へと繋いでいきたい。地域の森林を愛する総勢30人の仲間が、真摯に、そして楽しみながら日々山へ通い、森づくりを行っています。



企業組合 山仕事創造舎



## 北アルプス地域の山と林業

北アルプス地域は、北部は日本海側の豪雪地帯、南部は積雪の少ない中央高地、西に北アルプスの山岳がそびえ、東には低山帯が広がるという複雑な環境です。そのため、地域の森林は多様な植生をもつのが特徴です。

山創では、季節とともに施業エリアを移動し、小谷・白馬村周辺は主にスギやカラマツ、池田町・松川村周辺はアカマツ、大町周辺では広葉樹・針葉樹ともに多くの樹種の生産を行っています。個性的な山々がひしめき合う北アルプス地域では、その価値を引き出せる森林整備が求められています。



## 手入れされた明るい山。いろんな動植物が生きる山。

そんな山は足を踏み入れるだけで楽しいものです。今も昔も多くの魅力にあふれる山ですが、一方でお手入れについてお悩みの方も多くいらっしゃいます。さまざまな課題を一度にすべて解決することは難しいですが、まずは私たちと一緒に山を知ることからはじめてみませんか。



## きこりの流義



## 山を観察し、山から学べ

森づくりのためには、トラックや林業機械が通れる道を作ることが重要だ。道づくりの際、大敵となるのは「水」。地面を掘ると予期せずこんこんと水たまりが...などということも珍しくない。

しっかりとした道を作るためには、シダを参考にする。シダは水分が豊富な場所に群生していることが多いためだ。またベテランともなると、地面の踏み心地や一口に分類できないような地形の見た感じで道づくりをイメージする。山づくりには、やはり山や自然を直によく見て、学び、工夫し続けることが欠かせない。



## 山主さんに聞いてみました！ 実際どうですか？山創の森づくり

大町市 二重南大塩北団地  
森林整備協議会 会長 大塚誠さん（82歳）



### Q.ご自身の山とのかかわりについて教えてください

私が小学6年生の頃、父と松林に山小屋を建てて食事や寝泊まりをした思い出があります。農閑期は父と山で間伐をしたり、馬を引いて炭を運んだり、父の代までは山に出入りする機会は多かったです。

### Q.山創の施業についてのご感想など

施業に際して、山主に森林の整備の計画や意義をしっかりと説明をしようとする姿勢を感じます。今どこでどのような施業をしているのか、その作業方法や補助金などについての説明には安心感があります。

また作業面では林内の道づくりについて、これまでは大雨のたびに道が荒れることがありましたが、山創さんの開けた道は他よりも長くきれいに保たれていると感じます。

### Q.今後の森林整備に期待すること

山は大切な財産として受け継いできました。昨今は、木材の価格も下がりましたが、それでも後世へと山が大切に受け継がれていくことを望みます。

そのために、今後は山を単なる個人的な資産や用材生産の場として捉えるのではなく、例えば、景観や動植物の豊かさといった山が持つ様々な価値に注目することが大切だと思います。

こうした視点を持ちつつ経済面も両立ができるような山の管理を、今後も山創さんと考えていきたいです。

